

2017年度 第65回質量分析総合討論会

日本質量分析学会 男女共同参画 ランチタイムセミナー開催報告

Report of “MSSJ Gender Equality Lunch time seminar” in
65th Annual Conference on Mass Spectrometry, Japan

日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会企画として2017年5月19日(金)12:30-13:30に、つくば国際会議場エポカルつくばにおいて、テーマ：“語り合おう、共稼ぎ・子育てライフ”としてランチタイムセミナーを開催したので報告します。

本セミナーでは、コーディネーターの澤竜一委員長の司会のもと、本委員会の委員でもある東北大学大学院薬学研究科の大江知行氏、および、バイオシス・テクノロジーズの中山登氏をお招きし、「共稼ぎ・子育てライフ」をキーワードに講演していただきました。

大江知行氏からは、「共稼ぎ研究者の日米子育てライフ」と題してご講演いただきました。

内容は、子育てライフ：アメリカと日本の比較、現在の役割分担・生活環境・生活パターン、夫婦で研究者であることのメリット・デメリット、保育所・学童保育探しでの苦勞、周辺の理解、未だ困難な事、帰国してからの思い、東北大の男女共同参画（参考）の順で、写真などを利用してわかりやすくお話しくささいました。

10年以上のアメリカ生活を経験され、また共同研究者兼奥様が外国籍であるため、日本の「男女共同参画」、「国際化」の施策にズレを感じるころなどをお示しくささいました。また、男女共同参画・保育所の定員・ダブルケアの問題も、法整備だけでは解決するはずもなく、やはり夫婦の理解と協力、職場の理解、地域の絆が大切に必須であることもお話しくささい、参加された皆様もとても共感されたいと思います。

また、時間通りに終わらない会議や、子ども連れの参加を歓迎しない学会が未だあることなどの問題も提起して頂さいました。

帰国直後^[1,2]の東日本大震災^[3]の際には、人生最大の危機を経験されて途方に暮れたそうですが、子育てや奥様のキャリア・ワークライフバランスを考えるきっかけとなられたそうです。このころの苦勞話は下記に掲載されています。

[1] 大江知行: *J. Mass Spectrom. Soc. Jpn.*, 57, 167-172 (2009).

[2] 大江知行: *ぶんせき*, (4) 194 (2008).

[3] 大江知行: *ぶんせき*, (5) 1 (2012).

中山登氏からは、「共稼ぎ研究者の子育てと、共稼ぎの女性研究者を多く抱えたグループリーダーの経験談」と題してご講演いただきました。

中山氏は、1983年から共働きで2人のご子息の子育てをなさいましたが、日本ロシュとい

う外資系の会社であったため、共働きでの子育てには結構融通が利いた環境ではありながら、それでも、奥様も研究者でいらしたので研究とお迎え等との時間配分の調整、突然の会議など、様々な問題に遭遇したこと、奥様のご退職の理由など、実際の苦労話をご紹介くださいました。

また、グループリーダーとして、メンバーに女性研究者が多かった理由や、女性の地位確保のための会社への働きかけの例等をお話してくださいました。女性研究者が辞める時期：結婚、出産、子どもの小学校入学、子どもの中学入学に多かった理由など、男女関わらず直面する子育ての問題について考えさせられました。

限られた時間の中で意見交換の時間が短くなってしまいましたが、今後さらに時間を割いてお話しいただく機会があればと思います。豊富な話題提供と問題提起により、次へとつながるランチタイムセミナーとなり、盛況のうちに拍手をもって閉会となりました。

ワークショップの趣旨及びプログラム

第 65 回質量分析総合討論会(2017)
(2017年5月19日(金)12:30-13:30 つくば国際会議場(2階奥 E会場 201B))
男女共同参画推進委員会ランチタイムセミナー
“語り合おう、共稼ぎ・子育てライフ”
“Talking about Dual-Career Families and Childcare”

タイトル・講演者：
「共稼ぎ研究者の日米子育てライフ」
大江 知行(東北大学大学院薬学研究科)

「共稼ぎ研究者の子育てと、共稼ぎの女性研究者を多く抱えたグループリーダーの経験談」
中山 登(バイオシス・テクノロジーズ & 聖マリアンナ医科大学)

コーディネーター 澤 竜一(微生物化学研究会)

(企画趣旨)

質量分析に関わる研究者や技術者が、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現させるための諸活動を行うことを目的とし、日本質量分析学会の委員会の一つとして男女共同参画推進委員会が2012年12月1日に発足しました。本委員会の活動として、第62回質量分析総合討論会では、第1回ワークショップ「質量分析関連企業におけるダイバーシティ・イニシアティブ」を開催し、翌年第63回討論会では第2回ワークショップ「イクメンから考えるワークライフバランス」と、第1回実践セミナー「研究資金獲得実践セミナー」を開催いたしました。

本年は、男女共同参画推進委員の大江知行先生に、日本と米国での子育て環境などについて実体験をもとに先生の男女共同参画感を、また中山 登先生には、共働き女性研究者を見てこられましたグループリーダーの時のお立場からお話いただく予定です。

なお、本セミナーは、軽食のみご用意させていただきます。また質量分析総合討論会の参加登録が必要となります。

このセッションに参加された方に感想をいただきましたので一部を紹介します。

- ・ちょうど今の子育て状況がぴったり当てはまり、共感しました。
- ・共感できます。演者と立場や環境は異なっていますが、同じ世代のため、同じ環境で、同じことを体験していました。
- ・いろいろな問題があること(帰国直後や震災時)をわかりやすくお話下さりとても勉強になります。
- ・まだ共働きへの理解が少なかった頃の話、海外との比較などの話が聞けて参考になりました。

このセミナーには、女性 16 名、男性 18 名、総数 34 名の皆様が参加して下さい、終了時にはアンケートにご協力いただきました。結果を集計し、報告書として公開するとともに、今後の運営にいかしていきたいと思えます。男女共同参画の活動は、学会員の皆様に知られて参りましたものの、今でも試行錯誤しながらの活動です。アンケートも参考に、今後とも、学会員の皆様の充実した人生のヒントとなるような、イベントの企画・開催を目指して活動してまいります。

今回、子育てと介護と研究でとてもお忙しい中、遠路はるばる足をお運びくださいました大江様、むずかしい子育てと女性研究者の育成に向き合われ、今はお孫さんの相手と研究の充実した毎日をお過ごしの中様、ご自身のご経験・苦労話を含め、共感する点の多い内容をご講演くださり、誠にありがとうございました。また、ランチョンセミナーの時間帯にも関わらずご参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

最後に、時間をやりくりし企画・準備から関わった委員及びその周りの方々お疲れ様でした。

ワークショップ開催風景

